



Avaya J129 IP 電話機ユーザーガイド

リリース 1.0
2016 年 12 月

注記

携帯電話、モバイル、または GSM 電話、または双方向ラジオを Avaya IP 電話の近くで使用すると、電波障害が生じる場合があります。

ドキュメントに関する免責

「関連ドキュメント」とは、様々な媒体で公開している製品関連情報を意味します。なおこの情報には、製品のユーザーへ通常提供している製品情報、取扱説明書、性能仕様書が含まれる場合があります。ドキュメントには広告資料は含まれません。Avaya はドキュメントの初版に対するいかなる変更、追加、削除に対して、それらが Avaya または Avaya の代理により実行されたものでない限り、責任を持ちません。エンドユーザーは、エンドユーザーの範囲内で本ドキュメントを修正、追加、削除したことによって生じる、またはそれに関連するいかなる申し立て、訴訟、請求、判決に対しても、Avaya、Avaya 代理人、従業員を免責することに同意するものとします。

リンクに関する免責

Avaya は、サイト内および Avaya が提供しているドキュメントにおいて参照されているリンク先の Web サイトのコンテンツや信頼性について一切責任を負いません。Avaya は、これらのサイトに記されている情報、記述、内容に関して責任を負いません。また、そこで説明・提供されている製品、サービス、情報を必ずしも是認するものでもありません。Avaya は、これらのリンクが常に機能することは保証していません。当社はリンク先ページの可用性を管理することはできません。

保証

Avaya のハードウェアおよびソフトウェアは、Avaya による限定保証付きです。限定保証の条件については、売買契約書を参照してください。また、Avaya の標準保証規約、およびこの製品の保証期間中に利用可能なサポート情報は、Avaya サポート Web サイト (<https://support.avaya.com/helpcenter/getGenericDetails?detailId=C20091120112456651010>) の「Warranty & Product Lifecycle」リンクまたは Avaya が指定する後継サイトに掲載されています。米国およびカナダ以外の Avaya 認定チャネルパートナーから本製品を購入された場合は、保証の提供元は Avaya ではなく、この Avaya チャネルパートナーとなることにご注意ください。

「ホステッドサービス」とは、Avaya または Avaya 認定チャネルパートナー (いずれか該当するもの) のいずれかからお客様が取得した Avaya ホステッドサービスサブスクリプションを指し、ホステッド SAS または該当するホステッドサービスに関するその他のサービス説明書で詳細に説明されています。ホステッドサービスサブスクリプションをご購入の場合、前述の限定保証が適用されない場合がありますが、該当するホステッドサービス向けのサービス説明書に記載されている当該ホステッドサービス向けサポートサービスの対象となる場合があります。詳しくは、Avaya または Avaya チャネルパートナー (いずれか該当するもの) にお問い合わせください。

ホステッドサービス

以下は、お客様が Avaya または Avaya チャネルパートナー (いずれか該当するもの) から Avaya ホステッドサービスサブスクリプションを購入された場合にのみ適用されます。ホステッドサービスの利用条件は、Avaya の Web サイト ([HTTPS://SUPPORT.AVAYA.COM/LICENSEINFO](https://support.avaya.com/licenses)) の「Avaya Terms of Use for Hosted Services」リンクまたは Avaya が指定する後継サイトに掲載されており、これはホステッドサービスにアクセスするかまたはこれを利用するすべての者に適用されます。本ホステッドサービスへのアクセスまたはその使用、もしくはかかる行為を他者に許可することによって、お客様はご自身のために、およびお客様が代わりにかかる行為を行っているエンティティ (以下、区別なく「お客様」または「エンドユーザー」と称する) は、本利用条件に同意したこととなります。会社またはその他の法人を代表して、お客様が本利用条件に同意する場合、お客様にはかかるエンティティを本利用条件に拘束する権限があるものと見なします。お客様にかかる権限がない場合、または本利用条件に同意しない場合は、本ホステッドサービスにアクセスしたり、それを使用したり、または他者にホステッドサービスのアクセスや使用を許可したりしないでください。

ライセンス

Avaya の Web サイト ([HTTPS://SUPPORT.AVAYA.COM/LICENSEINFO](https://support.avaya.com/licenses)) の「AVAYA SOFTWARE LICENSE TERMS (Avaya 製品)」リンクまたは Avaya が指定する後継サイトに掲載のソフトウェアライセンス条項は、Avaya または Avaya チャネル

パートナーとの取引契約に基づき、Avaya Inc.、Avaya 関連会社または Avaya チャネルパートナー (これらのうちいずれか該当するもの) から購入した Avaya ソフトウェアをダウンロード、使用および/またはインストールしたすべてのユーザーに適用されます。Avaya、Avaya 関連会社、または Avaya チャネルパートナー以外からソフトウェアを入手した場合、書面による Avaya との同意が別でない限り、Avaya はこのライセンスを拡張しません。また Avaya は、ライセンスなしにソフトウェアを使用・販売する人物に対して法的措置を取る権利を保有します。本ソフトウェアをインストール、ダウンロードまたは使用するか、第三者によるこれらの行為を許諾したお客様と、お客様が代表している会社 (状況に応じて、以下「お客様」または「エンドユーザー」といいます) は、本条件に同意したこととなり、この場合、お客様と AVAYA INC. または該当する AVAYA 関連会社 (以下「Avaya」といいます) との間に法的拘束力を持つ契約が成立します。

Avaya は、下記にライセンスの範囲が詳述されている旧 Nortel ソフトウェアを除いて、お客様に対し下記の種類のライセンスを付与します。なお注文書にライセンスの種類が明記されていない場合には、指定システムライセンスが付与されます。ライセンスの数と、ライセンス対象性能の単位は、該当のドキュメントまたはお客様に提供されるその他の資料に別途明記されていない限り、1 とします。「本ソフトウェア」とは、スタンドアロン製品、ハードウェアへのプレインストール製品、ならびにそのアップグレード版、アップデート版、パッチ版、バグフィックス版または修正版として Avaya または Avaya チャネルパートナーが提供する、オブジェクトコード形式のコンピュータプログラムを意味します。「指定プロセッサ」とは、単一のスタンドアロンのコンピュータデバイスを意味します。「サーバー」とは、複数のユーザーが利用するソフトウェアアプリケーションをホストする指定プロセッサを意味します。「インスタンス」とは、(i) 1 台の物理マシンにおいて、または (ii) 1 台のソフトウェア展開済み仮想マシン (「VM」) またはこれに類するデプロイメントにおいて、特定の時間に行われるソフトウェアの単一のコピーを意味します。

ライセンスの種類

指定システムライセンス (DS) : エンドユーザーは、注文書に明記されている台数を限度として、指定プロセッサにのみ本ソフトウェアの各コピーまたはインスタンスをインストールして使用することができます。Avaya では、注文書に明記されている指定プロセッサの識別に必要な、種類、シリアル番号、機能キー、インスタンス、場所または他の固有情報の提供をお客様にお願いする場合があります。Avaya 指定の電子的手段により前述の情報の提供をお願いする場もあります。

シュリンクラップライセンス (SR) : お客様は、本ソフトウェアに付属するか適用される「シュリンクラップ」または「クリックスルー」ライセンス (以下「シュリンクラップライセンス」といいます) など、該当の使用許諾契約の条件に従い、本ソフトウェアをインストールして使用することができます。

旧 Nortel ソフトウェア

「旧 Nortel ソフトウェア」とは、2009 年 12 月の Nortel Enterprise Solutions Business の事業譲渡の一部として Avaya によって取得されたソフトウェアを意味します。旧ノーテルソフトウェアとは、<http://support.avaya.com/LicenseInfo> の「旧ノーテルソフトウェア」リンクまたは Avaya が指定する後継サイトに掲載される旧ノーテル製品リストに含まれる本ソフトウェアです。旧ノーテルソフトウェアに関して、Avaya はお客様に対して、本ソフトウェアライセンス条件にもとづき、本ドキュメンテーションに記載された目的のためのみに、かつ埋め込んだ状態でのみ、実行のために、Avaya 機器とのコミュニケーションのために、承認されたアクティベーションまたは承認されたユッセルゲレバルの範囲で、旧ノーテルソフトウェアを利用するライセンスを付与します。旧 Nortel ソフトウェアの料金は、注文書または請求書に記述される承認されたアクティベーションまたは使用の範囲に基づく料金となる場合があります。

著作権

他に明示的に記されていない限り、Avaya が提供しているサイトのコンテンツ、ドキュメント、ソフトウェア、ホステッドサービス、ハードウェアを使用することはできません。Avaya が提供する当サイトの全コンテンツ、ドキュメント、ホステッドサービス、および製品 (コンテンツの選択、配置、デザインを含む) の所有権は、Avaya またはそのライセンス供与者が保有しており、著作権法および他の知的財産権法 (データベース保護に関する独自の権利を含む) によって保護されています。Avaya が明示的に許可した場合を除き、コンテンツ全体またはその一部 (コードやソフトウェアを含む) も、その手法を問わず、修正、模写、複製、再版、アップロード、投稿、転送、配布することはできません。Avaya の書面による明確な同意なしにこれらを複製、転送、配布、保存、使用する

ことは、適用法のもとで刑事上および民事上の犯罪になる場合があります。

仮想化

以下は、製品が仮想マシンに展開される場合に適用されます。各製品には、固有の発注コードおよびライセンスの種類が割り当てられています。製品の各インスタンスのライセンス供与および注文は、個別に行う必要があります。例えば、エンドユーザーまたは Avaya チャンネルパートナーが同じ種類の製品のインスタンスを 2 つインストールする場合、その種類の製品を 2 つ注文する必要があります。

サードパーティコンポーネント

「サードパーティコンポーネント」とは、ソフトウェアまたはホステッドサービスに含まれる特定のソフトウェアプログラムまたはその一部に、サードパーティ契約にもとづいて配布されるソフトウェア（オープンソースソフトウェアを含む）を意味します（以下、「サードパーティコンポーネント」）。この契約には、ソフトウェアの特定部分についての使用権に関する条項（以下、「サードパーティ条項」）が含まれています。必要に応じ、配布された Linux OS ソースコード（Linux OS ソースコードを配布した製品）に関する情報については、またサードパーティコンポーネントの著作権所有者および適用されるサードパーティ条項を特定するには、当該の製品、ドキュメント、あるいは Avaya のサポート Web サイト (<https://support.avaya.com/Copyright>) または Avaya が指定する後継サイトをご覧ください。サードパーティとの契約条件として提供されるオープンソースソフトウェアライセンス条件は、本ソフトウェアライセンス条件で付与されているライセンス権と矛盾せず、オープンソースソフトウェアの修正や配布など、お客様の利益となるその他の利益も含まれる場合があります。サードパーティとの契約条件は、本ソフトウェアライセンス条件が、適用されるサードパーティとの契約条件よりも厳しい制約を課している範囲内において、適用されるサードパーティコンポーネントについてのみ、本ソフトウェアライセンス条件に優先するものとします。

以下は、H.264 (AVC) CODEC が製品に配布される場合にのみ適用されます。本製品は、AVC 特許ポートフォリオライセンスにもとづき、消費者の個人的利用またはその他報酬の受領が生じない用途のために、(i) AVC 標準に準拠してビデオをエンコードすること（以下、「AVC ビデオ」）、および/または (ii) 消費者が個人的行為としてエンコードした AVC ビデオまたは AVC ビデオ提供のライセンスを受けたビデオプロバイダから入手した AVC ビデオをデコードすることを目的として、ライセンス許諾されるものです。

他のいかなる用途についても、ライセンスが許諾されることはなく、またライセンスが黙示的に付与されることもありません。詳細については、MPEG LA, L.L.C. から入手することができます。 [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com) を参照してください。

サービスプロバイダ

以下は、Avaya 製品またはサービスをホストする Avaya チャンネルパートナーに適用されます。サードパーティとの契約条件に従い、製品またはホステッドサービスでサードパーティコンポーネントを使用する場合があります。この場合、サービスプロバイダはサードパーティサプライヤから直接、個別にライセンスを取得する必要があります。Avaya 製品をホストする Avaya チャンネルパートナーは書面による Avaya の承諾が必要です。これらのホステッド製品に特定のサードパーティソフトウェア（MICROSOFT ソフトウェアまたは CODEC が含まれますがこれらに限定されません）が使用または組み込まれる場合、Avaya チャンネルパートナーは適用される使用許諾契約を当該サードパーティサプライヤから直接、個別に自費で入手する必要があります。

CODEC に関しては、Avaya チャンネルパートナーがホストする製品に G.729 CODEC、H.264 CODEC、または H.265 CODEC が使用または組み込まれる場合、Avaya チャンネルパートナーはすべての関連費用および/またはロイヤリティの責任を負うことに同意したこととなります。G.729 CODEC は SIPRO LAB TELECOM INC. からライセンス許諾されています。詳細については、[WWW.SIPRO.COM/CONTACT.HTML](http://www.sipro.com/contact.html) を参照してください。H.264 (AVC) CODEC は、AVC 特許ポートフォリオライセンスに基づき、消費者の個人的利用またはその他報酬の受領が生じない用途のために、(I) AVC 標準に準拠してビデオをエンコードすること（以下、「AVC ビデオ」）、および/または (II) 消費者が個人的行為としてエンコードした AVC ビデオまたは AVC ビデオ提供のライセンスを受けたビデオプロバイダから入手した AVC ビデオをデコードすることを目的として、ライセンス許諾されるものです。他のいかなる用途についても、ライセンスが許諾されることはなく、またライセンスが黙示的に付与されることもありません。H.264 (AVC) CODEC および H.265 (HEVC) CODEC の詳細については、MPEG LA, L.L.C. から入手することができます。 [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com) を参照してください。

法令との準拠性

お客様は、Avaya 製品が使用されるいかなる国や地域においても通話録音、データプライバシー、知的財産、営業秘密、不正行為、演奏権（これらを含みますが限定されない）に関連する適用法令に準拠する責任を負うことに同意することとなります。

通信不正利用の防止

「通信不正利用」とは、未承認のユーザー（例えば、従業員、代理店、下請け業者、または代理業者以外のユーザー）がお客様の通信システムを許可なしで利用することです。お客様のシステムに関連した通信不正利用のリスクがあるということ、さらに通信不正利用が行われた場合、お客様の通信サービスに対して相当額の追加請求が生じる結果になりますのでご注意ください。

Avaya Toll Fraud Intervention (Avaya 通信不正利用防止ライン)

通信不正利用の被害にあっている疑いがあり、技術的な支援またはサポートが必要な場合、米国およびカナダ在住のお客様は Technical Service Center Toll Fraud Intervention Hotline (Tel: +1-800-643-2353) へお電話でご連絡ください。その他のサポートの電話番号については、Avaya サポート Web サイト (<https://support.avaya.com>) または Avaya が指定する後継サイトをご覧ください。

セキュリティの脆弱性

Avaya のセキュリティサポートポリシーの詳細については、「Security Policies and Support」セクション (<https://support.avaya.com/security>) を参照してください。

Avaya 製品でセキュリティの脆弱性が疑われる場合は、Avaya Product Security Support Flow (<https://support.avaya.com/css/P8/documents/100161515>) に従い対応してください。

ドキュメントのダウンロード

ドキュメントの最新版については、Avaya サポート Web サイト (<https://support.avaya.com>) または Avaya が指定する後継サイトをご覧ください。

Avaya サポートの連絡先

製品またはホステッドサービスの案内や記事を確認したり、Avaya の製品またはホステッドサービスに関する問題を報告したりする場合は、Avaya サポート Web サイト (<https://support.avaya.com>) にアクセスしてください。サポートの電話番号およびお問い合わせ先については、Avaya サポート Web サイト (<https://support.avaya.com>) または Avaya が指定する後継サイトにアクセスし、ページの下までスクロールして、「Contact Avaya Support」を選択してください。

規制に関する宣言

オーストラリアによる宣言

パワート磁気に関する宣言：

危険

ハンドセット受信機には、小さな金属体を引き寄せる可能性のある磁気装置が含まれています。ケガを負わないよう、注意を払ってください。

カナダ産業省 (IC) による宣言

RSS 標準に関する宣言

本装置はカナダ産業省がライセンス免除した RSS 標準に準拠しています。次の 2 つの条件に従って操作する必要があります。

1. 本装置は、妨害を引き起こすことなく、また
2. 装置の望ましくない操作を引き起こすおそれのある妨害も含め、本装置はあらゆる妨害を許容する必要があります。

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

1. L'appareil ne doit pas produire de brouillage, et
2. L'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

無線通信機に関する宣言

カナダ産業省の規定では、本無線通信機はアンテナタイプおよび、通信機に対しカナダ産業省が承認する最大（あるいはそれ以下）のゲインを使用しても操作するものとします。他のユーザーに対する潜在的な無線障害を減少させるため、アンテナタイプとそのゲ

インは等価等方放射電力（EIRP）が通信の成功に必要とされる以上のもの選択してはなりません。

Conformément à la réglementation d'Industrie Canada, le présent émetteur radio peut fonctionner avec une antenne d'un type et d'un gain maximal (ou inférieur) approuvé pour l'émetteur par Industrie Canada. Dans le but de réduire les risques de brouillage radioélectrique à l'intention des autres utilisateurs, il faut choisir le type d'antenne et son gain de sorte que la puissance isotrope rayonnée équivalente ne dépasse pas l'intensité nécessaire à l'établissement d'une communication satisfaisante.

この Class B のデジタル機器は、カナダの ICES-003 規準に準拠しています。

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

放射線被ばくに関する宣言

本装置は、規制のない環境向けに設定された FCC & IC RSS102 放射線被曝制限を満たしています。本装置は、ラジエータと人体間の距離が少なくとも 20 cm 以上離れた場所に設置して運用されるものとなります。本通信機器を他のアンテナや通信機器と一緒に設置したり、連動させたりしてはなりません。

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements ISED établies pour un environnement non contrôlé. Cet équipement doit être installé et utilisé avec un minimum de 20 cm de distance entre la source de rayonnement et votre corps.

日本による宣言

クラス B に関する宣言

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 装置です。この装置を家庭環境に設置されているラジオやテレビの付近で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って装置を設置および使用してください。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

Denan（電気用品安全）電源コードに関する宣言

⚠ 危険

装置の設置中、以下に注意してください。

- 装置に付属の、または Avaya が本装置での使用を指定した接続ケーブル、電源コード、AC アダプタのみを使用してください。ほかの装置を使用すると、障害や故障、火災を引き起こす場合があります。
- 本装置に付属の電源コードはほかの装置では使用できません。上記ガイドラインに従わない場合、死亡や重大な怪我につながる場合があります。



警告

本製品を安全にご使用頂くため、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブル、電源コード、AC アダプタなどの部品は、必ず製品に同梱されており、添付品または指定品をご使用ください。添付品指定品以外の部品をご使用になると故障や動作不良、火災の原因となることがあります。
- 同梱されており、添付品の電源コードを他の機器には使用しないでください。上記注意事項を守らないと、死亡や大怪我など人身事故の原因となることがあります。

メキシコによる宣言

本装置は、次の 2 つの条件に従って操作する必要があります。

1. 本装置は、有害な妨害を引き起こすことなく、また
2. 望ましくない操作を引き起こすおそれのある妨害も含め、本装置が受けるあらゆる妨害を許容する必要があります。

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones:

1. Es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y

2. Este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

パワーオーバーイーサネット（PoE）に関する宣言

本装置は PoE ネットワークに接続する必要があります。外部機器には配線しないでください。

米国連邦通信委員会（FCC）による

電波障害に関する宣言

コンプライアンスの責任を負っている当事者が明確に承認していない変更や改造を行うと、ユーザーが本装置を操作する権限を失う場合があります。

FCC RF 露出コンプライアンス要件に準拠するため、本装置およびアンテナは他のアンテナや通信機器と一緒に設置したり、連動させたりしてはなりません。

本装置は FCC 規則のパート 15 に準拠しています。次の 2 つの条件に従って操作する必要があります。

1. 本装置は、有害な妨害を引き起こすことなく、また
2. 望ましくない操作を引き起こすおそれのある妨害も含め、本装置が受けるあらゆる妨害を許容する必要があります。

本製品は 5.15 ~ 5.25 GHz 周波数範囲で動作するため、IEEE 802.11a 無線 LAN を使用する場合、本製品の使用は屋内に制限されます。FCC では、同一チャネルモバイル衛星システムに有害な電波妨害が生じる可能性を低減するために、本製品を 5.15 ~ 5.25 GHz の周波数範囲の屋内で使用するように定めています。高出力レーダーは 5.25 ~ 5.35 GHz と 5.65 ~ 5.85 GHz 帯域幅の一次ユーザーとして割り当てられています。これらのレーダーステーションによって、このデバイスに電波妨害が生じたり、デバイスが破損したりする可能性があります。

クラス B パート 15 に関する宣言

米国/カナダで利用可能な製品の場合、1 ~ 11 チャネルのみ運用できます。その他のチャネルは選択できません。

本装置は FCC 規則のパート 15 に従って、クラス B デジタルデバイスの制限を満たしていることが実証されています。これらの制限は、住宅地での設置において有害な電波障害を妥当な範囲で防ぐために設けられています。本装置は無線周波エネルギーを発生・使用し、またこれを放射する可能性があります。指示に従って設置・使用しないと、無線通信に有害な電波障害が発生する可能性があります。ただし、適宜に設置しても電波障害が絶対に発生しないという保証はありません。本装置によってラジオやテレビの受信が干渉を受けている場合（本装置をオン/オフに切り換えることで確認できます）、ユーザーは以下のいずれかの方法によって電波障害を解消するよう奨励されます。

- 受信アンテナの向きや場所を変更する
- 本装置と受信機の距離を離す
- 本装置を、受信機が接続されているものとは別のコンセントに接続する
- 販売店または熟練したラジオ/テレビの技術者に相談する

放射線被ばくに関する宣言

本装置は、規制のない環境向けに設定された FCC 放射線被曝制限を満たしています。本装置は、ラジエータと人体間の距離が少なくとも 20 cm 以上離れた場所に設置して運用されるものとなります。本通信機器を他のアンテナや通信機器と一緒に設置したり、連動させたりしてはなりません。

EU 各国

この機器は、指令 1999/5/EC の必須要件およびその他の関連規定に準拠しています。宣言のコピーは <http://support.avaya.com> または Avaya Inc., 211 Mt. Airy Road, Basking Ridge, NJ 07920 USA から取得できます。

一般的な安全警告

- この製品に指定されている Avaya 認可の Limited Power Source 電源装置のみを使用してください。
- 以下のことを確認してください。
 - 水の近くでデバイスを操作しないでください。
 - 落雷時にデバイスを使用しないでください。
 - ガス漏れの周辺でガス漏れを報告しないでください。

- 電気通信配線上のデバイスへの電力は、**36～57** ボルト DC または **1.3** アンペア DC 以下に制限されます。

商標

本サイトならびに **Avaya** 提供のドキュメント、ホステッドサービスおよび製品に表示されている商標、ロゴ、サービスマーク (以下、「マーク」) は、**Avaya** およびその関連会社、ライセンサ、サプライヤもしくはその他サードパーティの登録/未登録商標です。ユーザーは、**Avaya** またはマークを所有している可能性がある第三者の書面による事前の許可なく、これらのマークを使用することはできません。当サイト、ドキュメント、ホステッドサービス、製品に含まれているいかなるものによっても、**Avaya** または該当するサードパーティの明確な同意なく、黙示的にも禁反言にも、マークのライセンス供与または権利を認めるものとして見なすことはできません。

Avaya は、**Avaya Inc.**の登録商標です。

Avaya 以外の商標は、各所有者の財産です。Linux[®] は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

目次

章 1: 概要	8
目的.....	8
対象読者.....	8
章 2: Avaya J129 IP Phone 概要	9
物理レイアウト.....	10
接続ジャック.....	12
電話機のアイコン.....	13
サポートされる機能.....	15
章 3: 基本的な操作	16
プロビジョニングサーバーアドレスの入力.....	16
電話機にログインする.....	16
電話機からログアウトする.....	17
電話機をロック/ロック解除する.....	17
章 4: 発信呼を処理する	18
呼を発信する.....	18
番号をリダイヤルする.....	18
スピードダイヤルを使用して呼を発信する.....	18
アクティブな通話間を切り替える.....	19
連絡先リストから電話をかける.....	19
通話履歴から発信する.....	20
緊急通話を行う.....	20
国際通話を行う.....	21
章 5: 呼に応答する	22
通話中に別の電話機に切り替える.....	22
仲介転送を行う.....	23
ブラインド転送を行う.....	23
保留中の呼を転送する.....	24
章 6: 連絡先を管理する	25
新しい連絡先を追加する.....	25
連絡先を編集する.....	25
連絡先の詳細を表示する.....	26
連絡先を検索する.....	26
連絡先を削除する.....	27
章 7: 通話履歴を管理する	28
通話履歴をオン/オフにする.....	28
通話履歴の詳細を表示する.....	28
通話履歴メニューから通話履歴を追加または削除する.....	28
通話履歴メニューをクリアする.....	29
章 8: 電話会議を管理する	30
アクティブな呼に相手を追加する.....	30
保留中の相手を会議通話に追加する.....	30
会議通話を保留にする.....	31

章 9: 通話関連機能を使用する	32
呼をミュート／ミュート解除する.....	32
ミュート通知を起動する.....	32
着信ランプ表示.....	33
呼を保留にする／呼を再開する.....	33
ボイスメールへの転送を有効にする.....	33
コールパーク／コールパーク解除.....	34
応答不可を有効にする.....	34
自動コールバックを設定する.....	35
不在転送を有効／無効にする.....	35
呼に応答しない場合に不在転送を有効にする.....	36
携帯内線を起動する.....	36
悪意呼を追跡する.....	36
通話中の内線番号表示を防ぐ.....	37
章 10: プレゼンスを管理する	38
退席時間を有効にする.....	38
章 11: ボイスメールを管理する	39
ボイスメールを取得する.....	39
章 12: Avaya J129 IP 電話機をカスタマイズする	40
ダイヤルモードを設定する.....	40
スピードダイヤルを割り当てる.....	40
スピードダイヤルの連絡先を置換／削除する.....	41
着信ランプ表示を設定する.....	41
通話時間を表示する.....	41
着信呼の着信音を設定する.....	42
キーのプッシュ音をオン／オフにする.....	42
エラートーンをオン／オフにする.....	42
音声設定をオン／オフにする.....	43
ハンドセットプロファイルの設定.....	43
表示画面のコントラストを調整する.....	43
表示言語を設定する.....	44
時刻形式を設定する.....	44
日付形式を設定する.....	44
タイムゾーンを設定する.....	45
章 13: 関連資料	46
各種マニュアル.....	46
Avaya サポート Web サイトで文書を検索する.....	47
Avaya Mentor Videos の表示.....	48
サポート.....	49

章 1: 概要

目的

このドキュメントでは、製品の機能および性能について説明します。

対象読者

このドキュメントは、製品の機能と性能について学習したいユーザーを対象としています。

章 2: Avaya J129 IP Phone 概要

Avaya J129 IP Phone は、基本的な業務で使用する SIP ベースの電話機です。この電話機は、1 回線の通話表示と2回線の通話アピランス（発着信）に対応しています。

物理仕様



- 通話アピランス（発着信）×2
- 128 x 32 ピクセルのグラフィカル LCD
- ソフトキー x3
- デュアル 10/100 ネットワークポート
- Power over Ethernet クラス 1 デバイス
- 磁気フックスイッチ

物理レイアウト



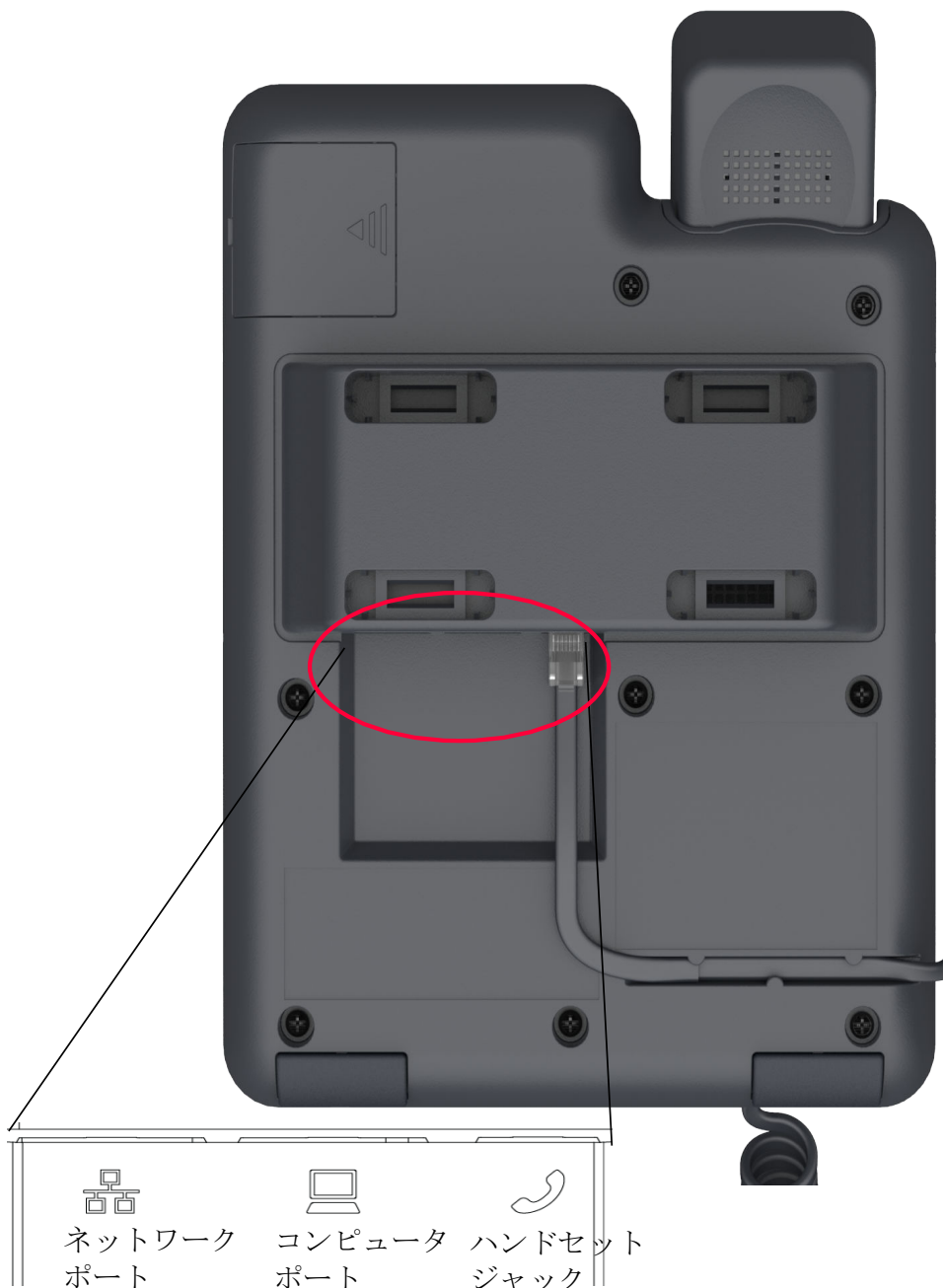
コールアウト番号	名称	ボタンアイコン	説明
1	ビーコン LED	なし	ボイスメールまたは着信がある場合、またはハンズフリーのスピーカー機能を使用して通話している場合は、電話機の右上でビーコン LED が赤く点滅します。
2	電話画面	なし	電話のこのエリアに、内線番号、発呼者情報、未応答呼などの通話情報が表示されます。 * 注 <ul style="list-style-type: none"> • テキストの末尾に 3 つのドットが表示される場合、左右矢印キーを使用してテキストをスクロールします。 • 電話画面の右側にスクロールバーまたは回線インジケータが表示される場合、上下矢印キーを使用して上下にスクロールします。
3	ソフトキー	なし	ソフトキーは電話画面のソフトキーセクションに表示される操作を選択します。ソフトキーの割り当ては状況により変化します。
4	ナビゲーション矢印と [OK]		[OK] ボタンは左端のソフトキーに割り当てられた機能を選択する操作を実行します。 ナビゲーション矢印は電話画面の各セクションをスクロールする操作を実行します。
5	電話		[電話] ボタンを押して [電話] 画面に移動します。
6	戻る		[戻る] ボタンを押して現在の操作をキャンセルし、前のメニューに戻ります。
7	スピーカー		[スピーカー] ボタンを押して、スピーカーフォンを使用します。呼のスピーカーフォンをオフにする場合は、ハンドセットを持ち上げます。
8	メインメニュー		[メインメニュー] ボタンを押して、メニューオプションやその他の電話設定にアクセスします。
9	保留		[保留] ボタンを押して、呼を保留にします。 呼を再開するときは、[再開] ソフトキーを押します。

次のページに続く...

コールアウト番号	名称	ボタンアイコン	説明
10	ボリューム		通話中に [ボリューム] ボタンの [+] または [-] をボタンで押すと、ハン ドセットまたはスピーカーの音量を 適宜増減できます。通話中でない ときにこれらのボタンを押すと、呼び出 し音の音量を調整することができます。
11	ミュート		[ミュート] ボタンを押すと、通話中 の呼がミュートになります。呼をミ ュート解除するときは、もう一度 [ミ ュート] ボタンを押します。

接続ジャック

下図に Avaya J129 IP Phone モデルの背面パネルにある接続ジャックを示します。この図は、どのデバイスをどのジャックに接続するかを概略的に示しています。





















電話機のアイコン

次の表に、Avaya J129 IP Phone で使用するアイコンを示します。

アイコン	説明
	最初のコールアピランスの回線インジケータ

次のページに続く...

アイコン	説明
	2 番目のコールアピランスの回線インジケータ
	10 件を超える未応答呼の履歴
	発信呼の履歴
	未応答呼の履歴
	着信呼の履歴
	発信履歴 (MDA)
.	未応答呼
	チェック
	MDA がアクティブ
	新規呼のセットアップ
	ボイスメール
	チェックボックスがオフ
	チェックボックスがオン
	アクティブな会議
	保留中の会議
	コントラスト
	携帯内線
	フェイルオーバー
	ラジオボタンがオフ
	ラジオボタンがオン
	機能が利用不可
	不在転送
	ハンドセット
	保留
	電話のロック
	着信音オン
	着信音オフ
	スピーカー
	応答不可

サポートされる機能

Avaya J129 IP Phone は、Avaya Aura[®] と IP Office 環境をサポートしています。次の表に、両方の環境でサポートされる機能を示します。

[機能]	Avaya Aura [®]	IP Office
エンドツーエンドのセキュリティインジケータ	はい	いいえ
プライベート通話	はい	いいえ
自動コールバック	はい	いいえ
不在転送	はい	はい。短縮コードを使用するとサポートされます。
ユーザーがログインしていないときの緊急ダイヤル	はい	いいえ
会議通話	はい	はい。会議通話は3人の参加者をサポートし、通話は電話機でホストされます。
仲介転送	はい	はい
ブラインド転送	はい	はい
連絡先または履歴を選択して通話を転送	はい	はい。履歴のみサポートされます。
連絡先	はい	いいえ
プレゼンス	はい	いいえ
クイックログイン	はい	いいえ
複数デバイスのアクセス (MDA)	はい	いいえ
同時ログイン	はい	いいえ
ボイスメール	はい	はい
コールパーク/コールパーク解除	はい	はい。短縮コードを使用するとサポートされます。
発信側情報のブロック	はい	いいえ
携帯内線	はい	いいえ
悪意呼トレース [MCT]	はい	いいえ
着信拒否	はい	はい。短縮コードを使用するとサポートされます。
自動コールバック	はい	はい。短縮コードを使用するとサポートされます。
ダイヤルモード	はい	はい。手動モードのみサポートされます。
スピードダイヤル	はい	いいえ

章 3: 基本的な操作

プロビジョニングサーバーアドレスの入力

このタスクについて

電話機を初めてネットワークに接続するときに、プロビジョニングサーバーアドレスを入力するよう求められる場合があります。プロビジョニングサーバーのアドレスを入力するには、次の手順を使用します。

前提条件

システム管理者はプロビジョニングサーバーアドレスをユーザーに提供する必要があります。

手順

1. [プロビジョニングサーバー設定定する] 画面でソフトキーを押して、次のいずれかを選択します。
 - [設定] (Config) : プロビジョニングサーバーアドレスの入力する。
 - [無効にする] (Never) : プロビジョニングサーバーアドレスを二度と要求しない。
 - [キャンセル] (Cancel) : 要求をキャンセルし、[ログアウト] 画面を表示する。
または [戻る] (Back) を押して要求をキャンセルし、[ログアウト] 画面を表示することもできます。
2. [プロビジョニングサーバー] (Prov Server) フィールドでプロビジョニングサーバーアドレスを入力します。アドレスは、数値の IP アドレスまたは英数字の完全修飾ドメイン名 (FQDN) の形式で入力できます。
フィールドにドット記号 (.) を入力する場合は、英数字ソフトキーを押して英数字モードに切り替えます。
3. [保存] (Save) を押します。
アドレスの入力に成功すると、電話が再起動します。

電話機にログインする

このタスクについて

このタスクを実行して電話機にログインします。

手順

1. [ログイン] ソフトキーを押します。

2. お使いの内線番号を入力します。
3. システム管理者が割り当てたパスワードを入力します。
4. [入力]、[OK]、[#] のいずれかを押します。

電話機からログアウトする

このタスクについて

管理者がオフラインの通話ログ機能を有効にすると、未応答呼が通話履歴に追加されます。オフラインの通話ログ機能は、Avaya Aura® 環境でのみ使用できます。

手順

1. [メインメニュー] > [ログアウト] を押します。

*** 注**

IP Office で [メインメニュー] > [管理] > [ログアウト] を押します。

2. 電話機に確認のメッセージが表示されたら [ログアウト] を押します。

電話機をロック／ロック解除する

このタスクについて

この手順を使用して、アイドル時の電話機をロックします。これにより、緊急通話をかける場合を除いて、退席中に電話機を使った発信が防止されます。電話をロックしてもログアウトされません。

手順

1. [メインメニュー] > [ロック] を押します。

電話機に南京錠の記号が表示され、プレゼンスステータスが（退席中）に変わります。

*** 注**

電話機をロックした後、着信は受信できます。

2. 電話機をロック解除するには、[ロック解除] を押して電話機へのログインに使用するパスワードを入力します。

章 4: 発信呼を処理する

呼を発信する

手順

1. 以下のいずれかを行います。
 - ハンドセットを持ち上げるか、[スピーカー] を押す場合は、手順 2 に進みます。
 - ハンドセットを持ち上げず、[スピーカー] を押さない場合は、手順 3 に進みます。
2. ダイヤルパッドの数字を押します。

必要な数字を入力するか、桁間タイマーが時間切れになると発信が開始されます。
3. ダイヤルパッドの数字を押します。

設定したダイヤルモードに従って発信されます。

 - ダイヤルモードが [自動] に設定されている場合は、必要な数字をすべて入力するか、桁間タイマーが時間切れになる前に番号をダイヤルします。
 - ダイヤルモードが [手動] に設定されている場合は、電話をかけたい相手の番号をダイヤルし、[発信] ソフトキーを押します。

関連リンク

[ダイヤルモードを設定する \(40 ページ\)](#)

番号をリダイヤルする

手順

[電話] 画面で [リダイヤル] または [OK] を押します。

最後にダイヤルした番号にリダイヤルされます。

* 注

発信履歴を削除すると、最後にダイヤルした番号も削除されます。

スピードダイヤルを使用して呼を発信する

このタスクについて

この機能は、Avaya Aura® 環境でのみ使用できます。

前提条件

スピードダイヤル番号が連絡先に割り当てられていることを確認します。

手順

電話をかけたい相手に割り当てられたダイヤルパッドキーをしばらく押し続けます。

関連リンク

[スピードダイヤルを割り当てる \(40 ページ\)](#)

アクティブな通話間を切り替える

手順

1. アクティブな呼の最中に、次のいずれかを実行します。
 - 新しく発信するには、[新規コール] を押して、2 人目の内線番号をダイヤルします。
 - 着信に応答するには、[応答] を押します。
2. 2 つのアクティブな通話間で切り替えるには、[切替] を押します。

連絡先リストから電話をかける

このタスクについて

この機能は、Avaya Aura® 環境でのみ使用できます。

手順

1. 連絡先を検索するには、以下のいずれかを行います。
 - 会社のデータベースに保存されたリストから検索する場合は、手順 2 に進みます。
 - 電話機に保存されたローカルの連絡先から検索する場合は、手順 3 に進みます。
2. 会社のデータベースに保存されたリストから検索するには、次のいずれかを実行します。
 - [電話] 画面で [連絡先] > [検索] を押します。名または姓を入力し、[検索] を押します。
 - [メインメニュー] > [連絡先] を押します。"ダイヤルパッドで検索" メッセージがタイムアウトするまで待機します。[検索] を押します。名または姓を入力し、[検索] を押します。
3. 電話機に保存されたローカルの連絡先から検索するには、次のいずれかを実行します。
 - a. [メインメニュー] > [連絡先] を押します。
 - b. IP 電話機に "ダイヤルパッドで検索" メッセージが表示されたら、電話をかける相手の名前の文字を入力します。たとえば、Smith という名前を検索する場合、7、6、4 を押します。
4. 選択した連絡先の番号に発信するには、[発信] または [OK] を押します。

関連リンク

[新しい連絡先を追加する \(25 ページ\)](#)

通話履歴から発信する

手順

1. 以下のいずれかを行います。
 - [メインメニュー] > [履歴] を押します。
 - [履歴] を [電話] 画面で押します。

注

電話機に緊急ダイヤルが設定されている場合は、[緊急] ソフトキーが電話画面の [履歴] ソフトキーに置換されます。

2. [上] / [下矢印] キーを使って呼び出したい番号を選択します。
3. [発信] または [OK] を押します。

関連リンク

[通話履歴メニューから通話履歴を追加または削除する \(28 ページ\)](#)

緊急通話を行う

このタスクについて

管理者が電話機に緊急通報を設定した場合、[電話] 画面にはあらかじめ設定された緊急サービス番号にただちに接続できる [緊急] ソフトキーが表示されます。

[緊急] ソフトキーを使用すると、システム管理者によって最優先順位が設定された番号にのみダイヤルできます。また、すべての緊急電話番号に手動でダイヤルすることもできます。

ただし、電話機に緊急ダイヤルが設定されていない場合、[履歴] ソフトキーが [緊急] ソフトキーに置換されます。

注

管理者がユーザー向けにこの機能を設定している場合のみ、電話機のログアウト時に緊急通話かけることができます。電話機をロックした場合にも緊急通話かけることができます。緊急通話機能は、電話機にログインしている場合のみ **IP Office** で使用できます。また、**IP Office** 環境では [緊急] ソフトキーは使用できません。緊急電話番号は手動でダイヤルする必要があります。

重要

電話機のフェイルオーバー中で、システムエラーが原因で電話機がシステムサーバーを切り替えているときは、電話機が代替サーバーに接続されるまで、[緊急] ソフトキーを使用できない場合があります。このプロセスには数秒かかることがあります。

手順

1. 次のいずれかを実行します。
 - [電話] 画面で [緊急] を押します。電話機に確認のメッセージが表示されたら [緊急] を押します。優先順位の最も高い番号に発信されます。
 - 緊急電話番号を手動でダイヤルします。
2. 緊急通話を終了するには、[スピーカー] を押します。

国際通話を行う

このタスクについて

E.164 は国際公共電話番号の標準フォーマットです。E.164 番号は最大 15 桁まであり、プラスのマーク [+] で始まります。以下の手順を用いて E.164 番号にダイヤルします。

手順

1. [0] キーを長押しして、プラス記号 (+) を表示します。
2. 電話をかけたい番号をダイヤルします。

章 5: 呼に応答する

このタスクについて

この手順を使用して、呼に応答します。Avaya J129 IP Phone ではアクティブな 2 回線を同時にサポートします。1 回線はアクティブな呼で使用します。もう 1 回線は保留中の呼で使用します。着信呼を受けると、音声通知または着信ランプ表示が生成されます。電話画面に着信呼の名前または番号が表示されます。

手順

次の方法で着信呼に応答します。

- 他の呼に応答していない場合、ハンドセットを持ち上げるか、[スピーカー]、[OK] または [応答] を押してスピーカーフォンでその呼に応答します。
- 通話中に 2 番目の着信が入った場合、[応答] または [OK] を押して着信呼に応答します。2 番目の着信呼に応答すると、最初の呼が自動的に保留になります。

[不応答] または [戻る] を押して着信音をオフにし、前の画面に戻ることもできます。

* 注

[不応答] または [戻る] を押しても 2 番目の呼は切断されません。[上] / [下矢印] キーを使用して、2 番目の通話を選択し、応答できます。

通話中に別の電話機に切り替える

このタスクについて

Avaya J129 IP Phone は、Multiple Device Access (MDA、複数デバイスのアクセス) をサポートしており、内線に最大 10 台の SIP デバイスを登録することができます。同じ内線に複数のデバイスを登録しておくことで、通話中にデバイスを切り替えることができます。

この機能は、Avaya Aura® 環境でのみ使用できます。

前提条件

システム管理者によって内線番号のオプションが有効にされていることを確認します。

手順

1. ご利用の電話機から着信呼に応答します。
2. 他の電話機に切り替えるには、その電話機の [ブリッジ] を押します。

仲介転送を行う

このタスクについて

仲介転送とは、呼を転送する前にアクティブな呼を保留し、通話転送の着呼者と 2 番目の呼を確立することを指します。

手順

1. 通話中に [転送] ソフトキーを押します。
2. 次のいずれかの操作を実行し、通話転送の着呼者に電話をかけます。
 - キーパッドを使用して番号をダイヤルします。
 - [連絡先] リストまたは [履歴] リストから電話をかける。

呼が保留になり、2 番目の呼の着信音が鳴り始めます。通話転送の着呼者が呼に応答します。

3. 転送を完了するには、[完了] ソフトキーを押します。

選択された番号に呼が転送されます。

* 注

Avaya Aura® 環境では、管理者がハングアップ時の転送機能を有効にすると、呼を切断して転送を完了できます。

ブライント転送を行う

このタスクについて

ブライント転送とは、通話転送の着呼者との呼を確立せずにアクティブな呼を転送することを指します。

手順

1. 通話中に [転送] ソフトキーを押します。
2. 次のいずれかの操作を実行し、通話転送の着呼者に電話をかけます。
 - 番号をダイヤルする。
 - [連絡先] リストまたは [履歴] リストから電話をかける。

呼が保留になり、2 番目の呼の着信音が鳴り始めます。

3. 転送を完了するには、[完了] ソフトキーを押します。

選択された番号に呼が転送されます。

* 注

- 未応答転送は、リコール転送として電話機に戻されることがあります。
- Avaya Aura® 環境では、管理者がハングアップ時の転送機能を有効にすると、呼を切断して転送を完了できます。

保留中の呼を転送する

このタスクについて

この手順を使用して、保留中の呼を新しい発信呼または着信呼に転送します。

手順

1. 呼び出したい 1 人目の内線番号をダイヤルします。
2. 1 人目が呼に应答したら、[保留] を押します。
3. 以下のいずれかを行います。
 - 新しく発信するには、[新規コール] を押して、2 人目の内線番号をダイヤルします。
 - 着信に应答するには、[应答] を押します。

注

通話間で切り替えるには、[切替] を押します。

4. 2 人目が呼に应答したら、[転送] ソフトキーを押します。
5. 転送を確認するときは、[転送] ソフトキーを押します。

章 6: 連絡先を管理する

新しい連絡先を追加する

このタスクについて

この機能は、Avaya Aura® 環境でのみ使用できます。

手順

1. 以下のいずれかを行います。
 - 連絡先リストに連絡先が表示されない場合、[連絡先] > [新規] を押すか、[メインメニュー] > [連絡先] > [新規] を押します。
 - 連絡先リストに 1 件以上の連絡先が表示される場合、[連絡先] > [次へ] > [新規] を押すか、[メインメニュー] > [連絡先] > [次へ] > [新規] を押します。
2. ダイヤルパッドを使って、名または姓を入力します。
 - 入力する文字または数字に該当するテンキーを押します。
 - 文字が同じキーにある場合、次の文字を入力する前に一時停止してください。
 - スペースを入力するには、0 を押します。
 - 残りの文字または数字を入力します。
 - 記号を入力するには、[次へ] > [記号] を押します。ナビゲーション矢印を使って入力する記号を強調表示し、[挿入] を押します。
 - 最後の文字を削除するには、[Bk スペース] ソフトキーを押します。
3. 番号を入力します。

連絡先番号には、a ~ z、A ~ Z、0 ~ 9 と、コンマ (,)、プラス (+)、ドット (.) などの特殊記号を使用できます。
4. [保存] を押します。

連絡先を編集する

このタスクについて

この機能は、Avaya Aura® 環境でのみ使用できます。

前提条件

連絡先リストに 1 件以上の連絡先が必要です。

手順

1. 以下のいずれかを行います。
 - [連絡先] を押します。
 - [メインメニュー] > [連絡先] を押します。
2. 編集する連絡先を選択します。
3. [次へ] > [詳細] > [編集] を押します。
4. 編集するフィールドを選択します。
5. ダイアルパッドとソフトキーを使用して、連絡先情報を変更します。
6. [保存] を押します。

連絡先の詳細を表示する

このタスクについて

この手順を使用して、連絡先の詳細を表示します。この詳細から連絡先に発信、連絡先を編集または削除できます。

この機能は、Avaya Aura® 環境でのみ使用できます。

前提条件

連絡先リストに 1 件以上の連絡先が必要です。

手順

1. 以下のいずれかを行います。
 - [連絡先] を押します。
 - [メインメニュー] > [連絡先] を押します。
2. 表示したい連絡先を選択します。
3. [次へ] > [詳細] を押します。
 - 連絡先に電話をかけるときは、[発信] を押します。
 - 連絡先を編集するときは、[編集] を押します。
 - 連絡先を削除するときは、[削除] を押します。

連絡先を検索する

このタスクについて

この機能は、Avaya Aura® 環境でのみ使用できます。

手順

- ローカルの連絡先から連絡先を検索するには、次を行います。
 - [メインメニュー] > [連絡先] を押します。
 - ダイヤルパッドを使って連絡先の名または姓を入力します。
たとえば、**Smith** を検索する場合、**7**、**6**、**4** を押します。
- 企業ディレクトリから連絡先を検索するには、次を行います。
 - [電話] 画面で [連絡先] > [検索] または [メインメニュー] > [連絡先] > [検索] を押します。
 - ダイヤルパッドを使ってフルネームの一部か、姓または名の一部を入力します。
 - [検索] を押します。
ローカルの連絡先に連絡先を追加するには、[登録] を押します。

連絡先を削除する

このタスクについて

この機能は、Avaya Aura® 環境でのみ使用できます。

前提条件

連絡先リストに 1 件以上の連絡先が必要です。

手順

- 以下のいずれかを行います。
 - [連絡先] を押します。
 - [メインメニュー] > [連絡先] を押します。
- 削除したい連絡先を選択します。
- [次へ] > [詳細] > [削除] を押します。

章 7: 通話履歴を管理する

通話履歴をオン／オフにする

手順

1. [メインメニュー] > [設定] > [電話設定] を押します。
2. [下矢印] キーを使って [履歴を記録] 画面に移動します。
3. 通話履歴機能をオンまたはオフにするには、以下のいずれかを行います。
 - [変更] を選択します。
 - [左] / [右矢印] キーを使用します。
4. [保存] を押します。

通話履歴の詳細を表示する

手順

1. 以下のいずれかを行います。
 - [履歴] を押します。
 - [メインメニュー] > [履歴] を押します。
2. 表示したい番号を選択します。
3. [詳細] を押します。

詳細セクションには、着信呼アイコン、発信呼アイコン、未応答呼アイコンなどの呼タイプアイコンと、名前、内線番号、時刻、日付、時間が表示されます。

通話履歴メニューから通話履歴を追加または削除する

手順

1. 以下のいずれかを行います。
 - [履歴] を押します。
 - [メインメニュー] > [履歴] を押します。
2. 追加または削除したい番号を選択します。
3. [詳細] を選択します。

4. 次のいずれかを選択します。

- [登録] : 通話履歴メニューから通話履歴を連絡先リストに追加します。
- [削除] : 通話履歴から通話履歴を削除します。

*** 注**

IP Office の場合 :

- 連絡先機能には対応していません。 このため、通話履歴は連絡先リストに追加できません。
- [削除] ソフトキーは [メインメニュー] からのみ使用できます。

通話履歴メニューをクリアする

手順

1. 以下のいずれかを行います。

- [履歴] を押します。
- [メインメニュー] > [履歴] を押します。

2. [すべてクリア] を選択します。

*** 注**

IP Office では、[すべてクリア] ソフトキーは [メインメニュー] からのみ使用できます。

3. 電話機に確認のメッセージが表示されたら、次のいずれかを選択します。

- [すべてクリア] : 全エントリをクリアします。
- [キャンセル] : キャンセルして前のメニューに戻ります。

章 8: 電話会議を管理する

アクティブな呼に相手を追加する

このタスクについて

この手順を使用して参加者をアクティブな呼に追加し、電話会議を設定します。

前提条件

ユーザーは通話中である必要があります。

手順

1. アクティブな呼の最中に、[電話] 画面で [会議] を押します。
アクティブな呼が保留にされます。
2. 電話番号をダイヤルするか、[連絡先] リストから相手に電話をかけるか、または [履歴] リストから相手に電話をかけます。
3. 相手が呼に応答したときに [参加] を押します。
4. 他者を追加するときは、[追加] を押して手順 3 と 4 を繰り返します。

IP Office 環境では [追加] ソフトキーは使用できません。その場合、会議は電話機でホストされ、3 人の参加者のみサポートされます。

保留中の相手を会議通話に追加する

このタスクについて

このタスクを使用して保留にした相手を会議通話に追加することができます。

手順

1. 通話中に [保留] を押します。
2. 以下のいずれかを行います。
 - 新しく発信するには、[新規コール] を押して、2 人目の内線番号をダイヤルします。
 - 着信に応答するには、[応答] を押します。

注

通話間で切り替えるには、[切替] を押します。

3. 2 人目が呼に応答したら、[会議] ソフトキーを押します。

保留中の相手が会議通話に追加されます。

会議通話を保留にする

このタスクについて

この手順を使用して、電話会議を保留にします。この間も、他の通話者はお互いに通話できません。

手順

1. 会議通話中に [保留] を押します。
2. [再開] または [OK] を押すか、コールアピランスを選択して会議通話を再開します。

章 9: 通話関連機能を使用する

呼をミュート／ミュート解除する

手順

1. 呼をミュートするには、[ミュート] を押します。
2. 呼をミュート解除するには、[ミュート] を押します。

* 注

ミュートを押すと [ミュート] ボタンが点灯します。

ミュート通知を起動する

このタスクについて

この手順を使用して、電話機がミュート状態のときに声を出すと、電話機に通知が表示されるように設定します。

前提条件

システム管理者によって内線番号のオプションが有効にされていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] > [設定] > [電話設定] を押します。
2. [下矢印] キーを使って [ミュート通知] 画面に移動します。
3. [変更] を押して次のいずれかを選択します。
 - [音声]: 呼がミュートのときに声を出すと、8 秒後に電話機がビープ音を鳴らしてミュート状態であることを知らせます。
 - [表示]: 呼がミュートのときに 8 秒後に声を出すと、電話機に呼がミュート状態のアイコンが表示されます。

* 注

ミュート通知がオンのときにユーザーが声を出すのを止めると、500 ミリ秒後に呼がミュート状態のアイコンが通常のアクティブな呼のアイコンに置き換わります。

- [両方]: 音声と着信ランプ表示の両方のアクションを併用します。
 - [なし]: 電話機のミュート通知を無効にします。
4. [保存] を押します。

通話をミュート解除すると、ミュート通知は自動的にオフになります。

着信ランプ表示

ビーコン LED は以下の方法で着信呼および受信メッセージを知らせます。

- 着信呼があると、ビーコン LED が点滅します。
- 新しいボイスメールメッセージがあると、ビーコン LED が点灯したままの状態になります。
- 通話中、スピーカーがオンになっている場合に新しいボイスメールメッセージがあると、ビーコン LED は 15 秒間隔でオフに切り替わります。
- 通話中、スピーカーがオンになっている場合にボイスメールメッセージがないと、ビーコン LED は 15 秒間隔でオンに切り替わります。

* 注

- 通話がスピーカーで行われる場合、スピーカーアイコン (🔊) がアクティブな呼のハンドセット (📞) アイコンと置き換わります。
- 呼が保留にされると、ビーコン LED は点滅を停止します。

関連リンク

[着信ランプ表示を設定する \(41 ページ\)](#)

呼を保留にする／呼を再開する

手順

1. アクティブな呼を保留にするには、[保留] を押します。
2. 呼を再開するときは、[再開] または [OK] を押します。

ボイスメールへの転送を有効にする

このタスクについて

この手順を使用して、アクティブな呼をボイスメールに転送します。

前提条件

システム管理者は内線の機能を有効にする必要があります。

この機能は、Avaya Aura® 環境でのみ使用できます。

手順

1. 通話中に [メインメニュー] > [機能] を押します。
2. [下矢印] キーを使って [ボイスメールへ転送] 画面に移動します。
3. [選択] または [OK] を押してボイスメールへの転送を有効にします。

コールパーク / コールパーク解除

このタスクについて

この手順を使用してアクティブな呼を一時保留し、別の内線番号からの呼に応答します。

この機能は、Avaya Aura® 環境でのみ使用できます。

システム管理者は内線の機能を有効にする必要があります。

IP Office 環境では、この機能は短縮コードダイヤルを使用してサポートされます。短縮コードのリストについては、システム管理者にお問い合わせください。

手順

1. アクティブな呼の最中に、[メインメニュー] > [機能] を押します。
2. [下矢印] キーを使って [コールパーク] 画面に移動します。
3. [選択] または [OK] を押します。
電話機は通話を一時保留します。
4. 一時保留中の呼に応答するには、[メインメニュー] > [機能] を押します。
5. [下矢印] キーを使って [コールパーク解除] 画面に移動します。
6. [選択] または [OK] を押します。
7. コールが一時保留されたときの内線番号を入力します。
8. [OK] を押します。
電話機は呼の一時保留を解除します。

応答不可を有効にする

このタスクについて

この手順を使用して、システム管理者が設定した定義済みのカバレッジ番号に着信呼を転送します。

IP Office 環境では、この機能は短縮コードダイヤルを使用してサポートされます。短縮コードのリストについては、システム管理者にお問い合わせください。

前提条件

システム管理者は内線の機能を有効にする必要があります。

手順

1. [メインメニュー] > [機能] を押します。
2. [下矢印] キーを使って [応答不可] 画面に移動します。
3. [応答不可] を選択します。

自動コールバックを設定する

このタスクについて

内線番号が話中の場合は、この手順を使用して、内線番号が解放されたときに自動的にコールバックを受信できるようにします。

IP Office 環境では、この機能は短縮コードダイヤルを使用してサポートされます。短縮コードのリストについては、システム管理者にお問い合わせください。

前提条件

システム管理者は内線の機能を有効にする必要があります。

手順

1. 通話中に [メインメニュー] > [機能] を押します。
2. [下矢印] キーを使って [自動コールバック] 画面に移動します。
3. [選択] または [OK] を押して [自動コールバック] を有効にします。
コールバック呼を終話すると機能は自動的に解除されます。

不在転送を有効／無効にする

このタスクについて

この手順を使用して、指定された番号に着信を不在転送します。

IP Office 環境では、この機能は短縮コードダイヤルを使用してサポートされます。短縮コードのリストについては、システム管理者にお問い合わせください。

前提条件

システム管理者は内線の機能を有効にする必要があります。

手順

1. [メインメニュー] > [機能] を押します。
2. [下矢印] キーを使って [通話転送] 画面に移動します。
3. [選択] または [OK] を押します。
4. [着信先] フィールドに、着信の転送先の番号を入力します。
5. [保存] または [OK] を押します。
電話機から確認音が鳴り、機能メニューに戻ります。
6. 不在転送機能を無効にするには、[通話転送] 画面に移動します。
7. [選択] または [OK] を押します。

呼に応答しない場合に不在転送を有効にする

このタスクについて

この機能は、Avaya Aura® 環境でのみ使用できます。

前提条件

システム管理者は内線の機能を有効にする必要があります。

手順

1. [メインメニュー] > [機能] を押します。
2. [下矢印] キーを使って [話中/不応答転送] 画面に移動します。
3. [選択] または [OK] を押します。
4. [着信先] フィールドに、通話の転送先の番号を入力します。
5. [保存] または [OK] を押します。
電話機から確認音が鳴り、機能メニューに戻ります。
6. 機能を無効にするには、[話中/不応答転送] 画面に移動します。
7. [選択] または [OK] を押します。

携帯内線を起動する

このタスクについて

この手順を使用して、携帯電話で呼に応答します。

この機能は、Avaya Aura® 環境でのみ使用できます。

前提条件

システム管理者は、携帯電話で着信を受信できるように電話機をプログラミングする必要があります。

手順

1. [メインメニュー] > [機能] を押します。
2. [下矢印] キーを使って [携帯内線] 画面に移動します。
3. [OK] を押します。

悪意呼を追跡する

このタスクについて

この手順を使用して悪意呼トレース [MCT] を有効にし、悪意呼に関する情報を表示します。この機能は、管理者が電話システムに追跡を設定し、着呼者または操作者が追跡を管理できるときのみ利用することができます。この機能は、Avaya Aura® 環境でのみ使用できます。

前提条件

システム管理者は内線の機能を有効にする必要があります。

手順

1. 通話中に [メインメニュー] > [機能] を押します。
2. [下矢印] キーを使って [MCT] 画面に移動します。
3. [OK] を押します。

アラート音または点滅するビーコン LED は、トレースがアクティブであることを示します。電話を切ることで [MCT] が解除されます。

通話中の内線番号表示を防ぐ

このタスクについて

この機能は、Avaya Aura[®] 環境でのみ使用できます。

前提条件

システム管理者によって内線番号のオプションが有効にされていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] > [機能] を押します。
2. [発番非通知] を選択します。
3. [着信先] フィールドに、被呼者に見られたくない内線番号を入力します。
4. [OK] を押します。

章 10: プレゼンスを管理する

退席時間を有効にする

このタスクについて

Avaya J129 IP Phone にプレゼンスは表示されませんが、他のデバイスでプレゼンスを表示できるようにレポートできます。この手順を実行して、定義済みの時間経過後に、プレゼンスステータスを自動で退席中にアップデートします。

注

この機能は、Avaya Aura® 環境でのみ使用できます。

手順

1. [メインメニュー] > [設定] > [プレゼンス設定] を押します。
電話機には、[退席時間] 画面が表示されます。
2. [変更] を押してタイマーをオンにします。
3. [下矢印] キーを使って [タイマ値] 画面に移動します。
4. 時間を分単位で入力します。
1 ~ 999 の範囲内で任意の値を入力できます。
5. [保存] を押します。

章 11: ボイスメールを管理する

ボイスメールを取得する

このタスクについて

この手順を使用してメッセージを聞きます。 ビーコン LED が点灯すると、ボイスメールがあることを示します。

前提条件

システム管理者はボイスメールのユーザー ID とパスワードを設定する必要があります。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [下矢印] キーを使って [ボイスメール] 画面に移動します。
電話機にユーザー ID とパスワードの入力を求めるメッセージが表示されます。
3. ボイスメールのユーザー ID とパスワードをダイヤルします。
4. メッセージに従いボイスメッセージを再生するか、利用可能なその他のオプションの手順に従います。

章 12: Avaya J129 IP 電話機をカスタマイズする

ダイヤルモードを設定する

このタスクについて

この手順を使用して、ダイヤルの発信に使用するダイヤル方法を設定します。

手順

1. [メインメニュー] > [設定] > [電話設定] を押します。
2. [下矢印] キーを使って [ダイヤルモード] 画面に移動します。
3. [変更] を押して、次のいずれかを選択します。

- [手動] : [発信] ソフトキーを押して電話をかけます。

* 注

IP Office 環境では [手動] モードを使用します。

- [自動] : 発信するには、ダイヤルした番号がダイヤル計画と一致する必要があります。
4. [保存] を押します。

スピードダイヤルを割り当てる

このタスクについて

この手順を使用して、スピードダイヤル番号を連絡先に割り当てます。スピードダイヤルは 9 件まで割り当てることができます。

この機能は、Avaya Aura® 環境でのみ使用できます。

手順

1. [メインメニュー] > [設定] > [電話設定] を押します。
2. [スピードダイヤル] を選択します。
3. [上] / [下矢印] キーで、スピードダイヤル番号を選択します。
4. [連絡先] を押して、連絡先を選択します。
5. [選択] を押して、選択したスピードダイヤル番号に連絡先を割り当てます。

1 件のスピードダイヤル番号に割り当てられる連絡先は 1 つのみです。

スピードダイヤルの連絡先を置換／削除する

このタスクについて

この手順を使用して、スピードダイヤルの連絡先を置換または削除します。

この機能は、Avaya Aura® 環境でのみ使用できます。

前提条件

連絡先をスピードダイヤルの番号に割り当てます。

手順

1. [メインメニュー] > [設定] > [電話設定] を押します。
2. [スピードダイヤル] を選択します。
3. [下矢印] キーを使って、置換または削除したいスピードダイヤルの連絡先に移動します。
4. 以下のいずれかを押します。
 - [置換] : 連絡先を別の連絡先と置換します。
 - [クリア] : スピードダイヤルから連絡先を削除します。
5. 電話機に確認のメッセージが表示されたら [置換] または [クリア] を押します。

着信ランプ表示を設定する

このタスクについて

この手順を使用して、着信呼およびメッセージが入るとビーコン LED が点灯するように設定します。

手順

1. [メインメニュー] > [設定] > [電話設定] を押します。
2. [下矢印] キーを使って [着信ランプ表示] 画面に移動します。
3. [変更] を押して、着信ランプ表示を有効／無効にします。
4. [保存] を押します。

通話時間を表示する

このタスクについて

この手順を使用して、通話時間を表示します。

手順

1. [メインメニュー] > [設定] > [電話設定] を押します。

2. [下矢印] キーを使って [通話時間] 画面に移動します。
3. [変更] を押して通話時間を有効/無効にします。
4. [保存] を押します。

着信呼の着信音を設定する

手順

1. [メインメニュー] > [設定] > [オーディオ設定] を押します。
2. [下矢印] キーを使って [着信音タイプ] を選択します。
3. [選択] を押して必要な着信音を選択します。
4. [保存] を押します。

キーのプッシュ音をオン/オフにする

手順

1. [メインメニュー] > [設定] > [オーディオ設定] を押します。
2. [下矢印] キーを使って [キーのプッシュ音] 画面に移動します。
3. [変更] を押して、音声のオン/オフを切り替えます。
4. [保存] を押します。

エラートーンをオン/オフにする

このタスクについて

この手順を使用して、電話機の使用中に操作を間違えた場合のエラートーンアラームを有効にします。

手順

1. [メインメニュー] > [設定] > [オーディオ設定] を押します。
2. [下矢印] キーを使って [エラートーン] 画面に移動します。
3. [変更] を押すと、エラートーンのオン/オフが切り替わります。
4. [保存] を押します。

音声設定をオン／オフにする

このタスクについて

自動ゲイン制御 (AGC) は、発呼者の声が小さい場合に音量を上げ、発呼者の声が大きい場合に音量を下げます。この手順を使用して、ヘッドセットとスピーカーで個別に AGC をオン／オフにします。

手順

1. [メインメニュー] > [設定] > [オーディオ設定] を押します。
2. [オーディオゲインコントロール] を選択します。
3. [上] / [下矢印] キーを使用して、AGC をオンまたはオフにするハンドセットまたはスピーカーを選択します。
4. [変更] を押して AGC のオン／オフを切り替えます。
5. [保存] を押します。

ハンドセットプロファイルの設定

このタスクについて

このタスクは、聴覚障害のある方に関連します。この手順を使用して、電話機のオーディオ特性を変更します。

手順

1. [メインメニュー] > [設定] > [オーディオ設定] を押します。
2. [ハンドセットプロファイル] を選択します。

電話機に次が表示されます。

- [初期値]
 - [標準]
 - [増幅] : 通常のオーディオレベルを超えて最大音量を拡張します。最大音量設定を長い時間使用すると耳を損傷する可能性があるため、このオプションを使用する際は注意が必要です。
 - [聴力補助] : 聴力補助の音質を最適化します。
3. [変更] を押して、いずれかのオプションを選択します。
 4. [保存] を押します。

表示画面のコントラストを調整する

手順

1. [メインメニュー] > [設定] > [表示設定] を押します。

2. [コントラスト] を選択します。
3. [左] / [右矢印] キーを使って、コントラストを増減します。
4. [保存] を押します。

表示言語を設定する

手順

1. [メインメニュー] > [設定] > [表示設定] を押します。
2. [言語] を選択します。
3. [選択] または [OK] を押して、言語を変更します。
4. 電話機に確認のメッセージが表示されたら [はい] または [OK] を押します。
電話機の画面が [表示設定] に戻り、選択した言語に変更されます。

時刻形式を設定する

手順

1. [メインメニュー] > [設定] > [表示設定] を押します。
2. [下矢印] キーを使って [時刻形式] 画面に移動します。
電話機に次が表示されます。
 - [24 時間時刻形式]
 - [12 時間時刻形式]
3. [変更] を押して、いずれかのオプションを選択します。
4. [保存] を押します。

日付形式を設定する

手順

1. [メインメニュー] > [設定] > [表示設定] を押します。
2. [下矢印] キーを使って [日付形式] 画面に移動します。
電話機に次のいずれかが表示されます。
 - [デフォルト]
 - [mm/dd]
 - [dd/mm]
 - [mm.dd]

- [dd.mm]
 - [mm-dd]
 - [dd/mm]
 - [mmm dd]
3. [変更] を押して、いずれかのオプションを選択します。
 4. [保存] を押します。

タイムゾーンを設定する

このタスクについて

この手順を使用して、電話機の現在の時刻を設定します。

手順

1. [メインメニュー] > [設定] > [表示設定] を押します。
2. [タイムゾーン] を選択して、[時間] 画面に移動します。
3. 正しい時刻を設定するには、以下のいずれかを行います。
 - [左] / [右矢印] キーを使用します。
 - [-] または [+] ソフトキーを押します。
4. [保存] を押します。

章 13: 関連資料

各種マニュアル

「<http://support.avaya.com>」で次の関連ドキュメントを参照してください。

タイトル	本書の使用目的：	対象ユーザー
概要		
<i>Avaya Aura® Session Manager Overview and Specification</i>	Avaya Aura® Session Manager に関する機能説明、相互運用性、性能仕様、セキュリティとライセンスの要件などの特性や機能の確認。	Avaya Aura® Session Manager の特徴、機能、容量、制限に関する大まかな知識を必要とするユーザー。
<i>Avaya IP Office™ Platform Feature Description</i>	機能説明についての情報の確認。	システム管理タスクを実行するユーザー。
<i>Avaya IP Office™ Platform Solution Description</i>	このソリューションと相互作用する製品およびサービスについての情報の確認。	IP Office の特徴、機能、容量、制限に関する大まかな知識を必要とするユーザー。
実装		
<i>Avaya Aura® Session Manager の配置</i>	Avaya Aura® Session Manager のインストール手順と初期管理情報の確認。	Avaya Aura® Session Manager を Avaya Aura® System Platform にインストール、設定、検証するユーザー。
<i>Upgrading Avaya Aura® Session Manager</i>	アップグレードのチェックリストと手順の確認。	Avaya Aura® Session Manager のアップグレードを行うユーザー。
<i>Avaya Aura® System Manager の System Platform への配置</i>	Avaya Aura® System Manager のインストール手順と初期管理情報の確認。	カスタマーサイトで Avaya Aura® System Manager を Avaya Aura® System Platform にインストール、設定、検証するユーザー。

次のページに続く...

タイトル	本書の使用目的：	対象ユーザー
<i>Avaya IP Office™ Platform SIP Telephone Installation Notes</i>	IP Office SIP 電話機のインストール手順と初期管理情報の確認。	SIP 電話機を IP Office にインストール、設定、検証するユーザー。
管理		
<i>Administering Avaya Aura® Session Manager</i>	管理ツールの使用方法、データとセキュリティの管理方法、定期メンテナンスタスクの実行方法など、 Avaya Aura® Session Manager の管理タスクを実行する方法についての情報の確認。	Avaya Aura® Session Manager のシステム管理タスクを実行するユーザー。
<i>Avaya Aura® System Manager の管理</i>	管理ツールの使用方法、データとセキュリティの管理方法、定期メンテナンスタスクの実行方法など、 Avaya Aura® System Manager の管理タスクを実行する方法についての情報の確認。	Avaya Aura® System Manager の管理タスクを実行するユーザー。
<i>Administering Avaya IP Office™ Platform with Manager</i>	機能リストの短縮コード設定についての情報の確認。	短縮コードを使って IP Office の機能にアクセスする必要があるユーザー。
<i>Administering Avaya IP Office™ Platform with Web Manager</i>	管理ツールの使用方法、データとセキュリティの管理方法、定期メンテナンスタスクの実行方法など、 IP Office Web Manager の管理タスクを実行する方法についての情報の確認。	IP Office Web Manager の管理タスクを実行するユーザー。
保守		
<i>Maintaining Avaya Aura® Session Manager</i>	Avaya Aura® Session Manager の保守タスクに関する情報の確認。	Avaya Aura® Session Manager の保守を行うユーザー。
<i>Troubleshooting Avaya Aura® Session Manager</i>	Avaya Aura® Session Manager のトラブルシューティング、アラームの解決、ハードウェアの置換、アラームコードとイベント ID の説明に関する情報の確認。	Avaya Aura® Session Manager のトラブルシューティングを行うユーザー
<i>Using Avaya IP Office™ Platform System Status Application</i>	System Status Application の保守タスクに関する情報の確認。	System Status Application の保守を行うユーザー。
<i>Using Avaya IP Office™ Platform System Monitor</i>	SysMonitor の保守タスクに関する情報の確認。	SysMonitor の保守を行うユーザー。

Avaya サポート Web サイトで文書を検索する

このタスクについて

次の手順を使用して、Avaya サポート Web サイトで文書を検索します。

手順

1. ブラウザを使って、Avaya サポート Web サイト <http://support.avaya.com/> に移動します。

2. 画面の上部にユーザー名とパスワードを入力して、[Login] をクリックします。
3. カーソルを [Support by Product] の上に移動します。
4. [Documents] をクリックします。
5. [Enter your Product Here] 検索ボックスに製品名を入力し、ドロップダウンリストから製品を選択します。
6. 複数のリリースがある場合は、[Choose Release] ドロップダウンリストから適切なリリース番号を選択します。
7. 左側の [Content Type] フィルターを使用して、探しているドキュメントの種類を選択するか、[Select All] をクリックして選択可能な全ドキュメントの一覧を表示します。
たとえば、ユーザーガイドを探している場合、[Content Type] フィルターで [User Guides] を選択します。選択したカテゴリのドキュメントのみがドキュメントの一覧に表示されます。
8. [Enter] をクリックします。

Avaya Mentor Videos の表示

Avaya Mentor Videos は、Avaya 製品のインストール、設定、およびトラブルシューティングの方法に関する技術的な内容を提供します。

このタスクについて

ビデオは、Avaya サポート Web サイトでビデオドキュメントタイプの下に表示される一覧から、および Avaya が運営する YouTube チャンネルで入手できます。

手順

- Avaya サポート Web サイトでビデオを検索するには、<http://support.avaya.com> にアクセスして、次の操作のいずれかを実行します。
 - [Search] で、Avaya Mentor Videos と入力し、視聴できるビデオを表示します。
 - [Search] で、製品名を入力します。[Search Results] のページで [Video] を左側にある [Content Type] 欄から選択します。
- Avaya Mentor Videos を YouTube で検索するには、<http://www.youtube.com/AvayaMentor> にアクセスして、次の操作のいずれかを実行します。
 - [チャンネルを検索] にキーワード（複数可）を入力して、特定の製品やトピックを検索します。
 - [プレイリスト] を下へスクロールし、トピックの名前をクリックすると、サイト上に投稿されたビデオの利用できるリストが表示されます。

* 注

ビデオはすべての製品に提供されているわけではありません。

サポート

最新のドキュメント、製品に関する通知、情報資料を入手するには、「<http://support.avaya.com>」で Avaya サポート Web サイトにアクセスしてください。リリースノート、ダウンロード、および問題の解決も検索できます。オンラインサービス要求システムを使用して、サービス要求を作成します。ライブエージェントとチャットをして問題の解決を入手するか、問題がさらに専門知識を必要とする場合はサポートチームに接続してもらうようにエージェントに要求します。

索引

数字

2 番目の着信呼 [22](#)

A

AGC

音声設定 [43](#)
設定 [43](#)

あ

アイコン [13](#)

え

エラートーン

音声設定 [42](#)
設定 [42](#)

お

応答不可

離席機能 [34](#)

音声設定

AGC [43](#)
エラートーン [42](#)
キーのプッシュ音 [42](#)
設定 [42, 43](#)
着信音タイプ [42](#)
ハンドセットプロファイル [43](#)

か

会議通話

呼を保留にする [31](#)
設定 [30](#)
保留中の相手を追加 [30](#)

概要

機能仕様 [9](#)
物理仕様 [9](#)

管理方法

プロビジョニングサーバー [16](#)

管理メニュー

通話時間 [41](#)

関連ドキュメント [46](#)

き

機能

悪意呼のトレース [36](#)
自動コールバック [35](#)
ボイスメールに転送 [33](#)

キーのプッシュ音

音声設定 [42](#)

設定 [42](#)
緊急電話 [20](#)
緊急通話 [17](#)

け

検索

企業ディレクトリ [26](#)
名 [26](#)
連絡先 [26](#)
ローカル [26](#)

こ

呼

2つの呼を切り替える [24](#)
E.164 ダイアル [21](#)
MCT [36](#)
MWI [33](#)
アクティブな通話間を切り替える [19](#)
各国対応 [21](#)
切替 [19](#)
コールパーク [34](#)
コールパーク解除 [34](#)
呼を切り替える [24](#)
呼をミュート解除する [32](#)
呼をミュートする [32](#)
再開 [33](#)
自動 [18](#)
自動コールバック [35](#)
手動 [18](#)
スピードダイヤル [18](#)
着信ランプ表示 [33, 41](#)
仲介転送 [23](#)
通話時間 [41](#)
転送 [36](#)
電話機の切り替え [22](#)
ビーコン LED [33](#)
複数デバイスのアクセス [22](#)
不在転送 [35, 36](#)
保留 [33](#)
保留中の呼を転送する [24](#)
ミュート通知 [32](#)
履歴 [20](#)
履歴を消去する [29](#)
連絡先を編集する [26](#)
呼に応答する [22](#)
応答 [22](#)
呼の発信
履歴 [20](#)

さ

削除

連絡先を削除する [26](#)

サポート	49	不在転送を有効にする	35
サポートされる機能		離席機能	34
Avaya Aura 環境	15		
IP Office 環境	15		
し			
自動コールバック		追加	
呼	35	連絡先	25
詳細		通話時間	
履歴	28	電話設定	41
連絡先	26	通話転送	
		参加	23
		ブライインド	23
		通話履歴	
		全エントリのクリア	29
		通話履歴を削除する	28
		連絡先を追加する	28
す			
スピードダイヤル		て	
連絡先	40	転送	
連絡先を削除する	41	アクティブな呼	24
連絡先を置換する	41	電話	
		ログアウト	17
		電話機内線にログインする	16
		電話設定	
		着信ランプ表示	41
		通話時間	41
		通話履歴	28
		履歴を記録	28
せ			
設定		は	
AGC	43	背面パネル	12
エラートーン	42	発信呼	
音声設定	42, 43	各国対応	21
キーのプッシュ音	42	自動	18
言語	44	手動	18
コントラスト	43	内線番号表示を防ぐ	37
時刻形式	44	番号をリダイヤルする	18
タイムゾーン	45	連絡先リスト	19
着信音タイプ	42	ハンドセットプロファイル	
着信ランプ表示	41	音声設定	43
通話時間	41	増幅	43
通話履歴	28	聴力補助	43
日付形式	44	デフォルト	43
表示設定	43	標準	43
履歴を記録	28		
		ひ	
		ビデオ	48
		表示設定	
		言語	44
		コントラスト	43
		時刻形式	44
		タイムゾーン	45
		日付形式	44
た			
退席時間			
タイム値	38		
タイムゾーン			
設定	45		
表示設定	45		
ダイヤルモード			
自動ダイヤル	40		
手動ダイヤル	40		
ち			
着信音タイプ			
音声設定	42		
設定	42		
着信呼			
応答不可	34		
携帯内線	36		

ふ

不在転送	
適用	36
物理レイアウト	
前面	10
ブライント転送	23
プレゼンスステータス	
退席時間	38
プロビジョニングサーバー	16
プロビジョニングサーバー設定	
プロビジョニングサーバー	16

へ

編集

連絡先	25
連絡先の詳細	26

ほ

ボイスメール	
ビーコン LED	39
ボイスメールユーザー ID	39
法的通知	
保留	
会議通話を保留にする	31

み

ミュート	
ミュート通知	32
ミュート通知	
呼	32

め

メインメニュー	
機能	33
言語	44
メッセージ	
着信ランプ表示	41

り

履歴

呼	
履歴	20
呼の発信	20
詳細	28
すべてクリア	29
通話履歴を削除する	28
連絡先を追加する	28

れ

連絡先

検索	26
削除	27

詳細	26
新規連絡先	25
スピードダイヤル	18, 40
姓	26
追加	25
通話履歴から連絡先を削除する	28
通話履歴から連絡先を追加する	28
編集	25

ろ

ロック

ロック解除	17
-------	--------------------